



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

資料 3



とう し
10/4は
証券投資の日

FTとの共催による日本市場の プロモーション・イベントの様様について

「2021年以降の国際金融センターのあり方」
- パンデミック後、日本は競争力をどのように確保するか -

2021年 2 月

とうしゅう
10/4は
証券投資の日

1. イベント等の開催の経緯

- ## 2. イベント等の概要

1

1. FTとの共催による日本市場のプロモーション・イベント等の経緯及び概要



イベントのプログラム	日本時間	プログラム
パネル・ディスカッションの主なテーマ	23:00~05	歓迎・開会の挨拶: 日本証券業協会 会長 鈴木 茂晴
	23:05~55	パネル・ディスカッション: 「2021年以降の国際金融センターのあり方 -パンデミック後、日本は競争力をどのように確保するか」 モデレーター： フィナンシャル・タイムズ 編集委員 ジリアン・テット 氏 パネリスト： 金融庁長官 氷見野 良三 氏 Z/Yenグループ 会長 マイケル・マイネッリ 氏 フィデリティ・インターナショナル代表取締役社長 デレック・ヤング 氏
視聴者数		677名（登録者ベース）
イベントの後日視聴方法		FTのイベントウェブサイト（ https://shapingfincentres.live.ft.com/ ）への登録により、アーカイブ動画の視聴が可能。

2. FTとの共催による日本市場のプロモーション・イベント における主な発言



1. 歓迎・開会の挨拶の概要

(日本証券業協会 鈴木会長)

- 本日のイベントでは、国際金融センターが有すべき強みは何か、コロナ後の日本経済は競争力をどのように確保するかなどについて議論いただく。本イベントが、国際金融センターとしての日本市場、また、その更なる可能性を再発見いただく機会となることを祈念している。

2. パネル・ディスカッションの主なポイント（モデレーター：フィナンシャル・タイムズ テット編集委員）

- Z/Yenグループ マイネツリ会長より、日本の金融センターとしてのポテンシャルの高さと改善の余地がある分野について発言があった。
- 金融庁 氷見野長官より、これらの改善の余地がある分野について日本政府は既に取り組みを開始している事実、その取り組みの内容及び将来の展望について発言があった。
- フィデリティ・インターナショナル ヤング代表取締役社長より、上述の日本政府の取り組みやコロナ禍における強制的なデジタル化の促進を背景とした日本における確かな変化について発言があった。

【参考】当日の様子

